
忙中閑あり

なんじ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

忙中閑あり

【Nコード】

N5054B

【作者名】

なんじ

【あらすじ】

千葉刑事のイタズラにひっかるのはだ〜れだ（^^）（我ながら、なんてあらすじだ・・・）

（前書き）

2002年作。正月早々爆弾事件が起こるとは夢にも思っていない本庁の刑事たちの年末のひと時です。

年末の本庁。

本来はみな目の回るような忙しさ・・・のはず、なのだが。

「佐藤さん」

千葉に声をかけられて振り向いた佐藤の頬が、

千葉の人差し指で、柔らかにくぼむ。

「やったー！引つかかった。コレで十人目！」

「千葉君・・・何やってんの？」

「いえ、これはねえ、

どんな時でも油断大敵という警察官のための訓練なんですよ」

白鳥が言った。

「そんな事言つて。暇つぶしですね。

まったく『小人閑居して不善をなす』の見本みたいな人ですねえ、君は」

「何やってるんですか」

資料室から、帰ってきた、高木が聞く。

佐藤は後ろから、高木に声をかける。

「高木君」

「ハイ、なんででしょう」

無防備に、そして爽やかに振り向いた高木の頬を、佐藤の指がくぼませる。

それを見て、千葉が吹きだす。

「さつき、廊下で引つかかったばかりなのに」

顔を赤くして高木が抗議する。

「まさか、佐藤さんがこんなバカな事すると思わないじゃないですか！」

頬杖について、机を人差し指でたたきながら、呆れたように、目暮が言う。

「佐藤君まで、一体何をやっとするんだ。いつ、忙しくなるかわからんのだぞ。」

今のうちに、みんな、たまった書類を、
どんだんわしの所へ持ってきて欲しい物だな」

「申し訳ありません」

頬を赤らめた佐藤だが、千葉は、平然と、目暮に言う。

「目暮警部、一つ、いいもの見せて差し上げます。」

佐藤さん、両手のこぶしをこしこし強くこするあわせて下さい」
不思議そうな顔をしながらも、佐藤は千葉の言うとおりにした。

「あつたかくなりましたか」

「ええ」

「じゃあ、その匂いを嗅いで下さい」

ますます、不思議そうな表情をしながらも、

佐藤は、両こぶしの内側を鼻に近づけた。

「ハイ、『ブリっ子』」

うれしそうに千葉が言った。

それを見た、目暮警部他、数人の刑事は、机に突っ伏して、肩を
痙攣させた。

白鳥警他、数人は、その場で、真っ白になって動かなくなった。

「千〱葉く〱ん」

地を這うような、佐藤の声と同時に、

千葉は、猛ダッシュで、部屋からいなくなった。

佐藤もそれを追いかけて、姿を消した。

しばらく、何かを堪えるように目暮は黙っていた。

そして大きく息をついて皆に声をかけた。

「さあ、今年中に済む仕事は今年中に済ませるぞ！」

皆も、何事も無かったように仕事に打ち込んだ。

しかし、しばらくの間、突然、理由も無く吹きだす者が、散見でき
たという。

（おまけ）

帰宅した、白鳥を執事の鴨居は、いつものように出迎えた。

「お仕事、いかがでした？」

「今日は、平和な日だったよ」

背広を受け取って去ろうとするその後姿に、白鳥は声をかけた。

「鴨居」

振り向いた、鴨居の頬に、白鳥の人差し指が、深々と埋もれた。

「はい、何でございましょう。坊ちゃま」

何もなかったかのような、穏やかな笑顔で鴨居は答えた。

一瞬の間を置いて、白鳥は平静を装って言った。

「食前酒は、いつもの物で頼むよ」

「はい、承知いたしました」

鴨居は何事も無かったように立ち去った。

鴨井五十吉。白鳥家に仕えて数十年。
執事の鑑であった。

（おしまい）

（後書き）

某サイトでトップ絵に触発されて書いたものです。
見返り高木君といった風情の楽しい物でしたので
お話も楽しい風景となりました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5054b/>

忙中閑あり

2010年10月20日19時35分発行